

コース・シラバス

コース名：キリスト教倫理

単位数：2

開講日時：毎週金曜日 2～3 時限

期間：2020 年 10 月 23 日～2021 年 3 月 12 日（15 講義）

担当：杉貴生

コースの概要

このコースはキリスト教倫理を主にアナバプテストの視点から学び、考察するものである。もっとも、アナバプテスト以外の神学者や書物からも多角的に学ぶことになる。クラスを通して、様々な倫理的課題を取り扱うが、特に、「平和」に関するテーマに多くの時間を用いることになる。

コースの目的

このコースでの学びを通して、学生は宗教的・道徳としての倫理ではなく、キリストの弟子としての倫理的視点を養う。律法、戒律、義務としてではなく、恵みによって、愛の神による賜物としての倫理を指導できる者となることを目指す。教会内外において直面する倫理的課題に対して、どう受けとめ、取り扱っていくべきかのスキルを身につける。暴力的な現代社会において、平和の君に従い、平和のメッセージを語り、平和をつくる者となる。

テキスト

ジョン・ハワード・ヨルダー「イエスの政治」（新教出版社）

Mark D. Baker, *Religious No More*（あるいはその和訳）

リチャード・ヘイズ「新約聖書のモラル・ヴィジョン」（キリスト新聞社）

ティモシー・ケラー「放蕩する神」（いのちのことば社）

ティモシー・ケラー「偽りの神々」（いのちのことば社）

ジョン・ハワード・ヨルダー「愛する人が襲われたら？」（新教出版社）

岡山英雄「子羊の王国」（いのちのことば社）

参考図書

グレン・スタッセン他「イエスの平和を生きる」（東京ミッション研究所）

ロナルド・サイダー「平和づくりの道」（いのちのことば社）

ウォルター・ウィンク「イエスと非暴力：第三の道」（新教出版社）

村上伸「あなたはどうか生きるのか」（新教出版社）

リチャード・ボウカム「聖書と政治」（いのちのことば社）

21 世紀ブックレット「キリスト者の平和論・戦争論」(いのちのことば社)

Richard B. Hays, *Moral Vision of the New Testament*

スケジュール

10月23日(金)	講義1「イントロダクション」
10月30日(金)	※EBS 祈祷日のため休講
11月6日(金)	講義2「宗教と倫理Ⅰ」
11月13日(金)	講義3「宗教と倫理Ⅱ」
11月20日(金)	講義4「偽りの神々…偶像、マモン、物質主義Ⅰ」
11月27日(金)	講義5「偽りの神々…偶像、マモン、物質主義Ⅱ」
12月4日(金)	講義6「イエスの政治Ⅰ」
1月15日(金)	講義7「イエスの政治Ⅱ」
1月22日(金)	講義8「イエスの政治Ⅲ」
1月29日(金)	講義9「キリスト者の平和論・戦争論」
6月29日(金)	講義10「非暴力への道」
2月5日(金)	講義11「終末論とキリスト教倫理」
2月12日(金)	講義12「新約聖書のモラル・ヴィジョン(理論)Ⅰ」
2月19日(金)	講義13「新約聖書のモラル・ヴィジョン(理論)Ⅱ」
2月26日(金)	講義14「新約聖書のモラル・ヴィジョン(実践)Ⅰ」
3月5日(金)	講義15「新約聖書のモラル・ヴィジョン(実践)Ⅱ」
3月12日(金)	予備日

アサインメント

1. リーディング

学生は次回の講義で取り扱うテキストを事前に読んでくる。リーディングの箇所はその都度、担当教師が指定する。テキスト以外のリーディングが求められることもある。

2. レポート

学生は講義についてのレスポンス、あるいは事前のリーディングに伴うレポートが求められる。具体的な内容はその都度、担当教師が伝える。

3. ハイズの手法を用いた倫理判断レポート

リチャード・ハイズのメタファー的方法を用いて特定の倫理課題についてどのように判断すべきかを実践する。このレポートは講義 14、15 において発表の時間が設けられている。

評 価

クラス出席(10%)、ディスカッション(10%)、リーディング(20%)、レスポンスレター(20%)、リーディングレポート(20%)、倫理判断レポートと発表(20%)で行う。試験は行わない。